

## 巻頭言

## 守っていくものと変えていくもの

## The What We Should Keep &amp; the What We Should Change

常務執行役員  
CTO（兼）開発本部長

草場 泰介  
Taisuke (TK) Kusaba



イノベティブな技術者たるために肝要なこととは何なのか、研究開発に携わるようになって常に考え続けている。技術者としてこうありたい、こうあるべきではという自分の憧れや思いを形にするための問い掛けを頭のなかで繰り返しているだけなのかも知れない。

私はこれまで日本で多くの優秀な仲間や先輩方と接し、その能力を尊敬し憧れ、いろんなことを学び、多くの気付きを得た。また、コマツの技術・設計標準を理解し適用する過程で、先達の苦労と伝承への強い思いを感じ取ることもできた。これからも我々は挑戦と成功もしくは失敗とその対策および歯止めの繰り返しからその技術力を更に高めていくという真剣な行為、すなわち標準化とその伝承を絶対に止めてはならず、必ずこれからも続けなければならない。そのコマツの技術の歴史のなかで培われたものが総合力＝技術力となって、我々が作る 3D モデルや図面に吹き込まれ商品となる。その技術力をきちんと培い、伝承し、守っていくことが重要であることに間違いはない。

一方で、これまで海外でも多くの優秀な仲間や先達たちや社外の技術者や研究者と接する機会を得た。そこから得られたものもまた現在の自分の考え方に大きな影響を与えている。彼らは、技術に対する真摯な考え方と自らの技術力を高めたいという向上心に加えて、環境や状況の変化に応じて臨機応変にかつ極めて合理的に、それまでの考え＝ストーリーを素早く構築し直すこと＝変えることを是としていた。私も最初は抵抗があったが、すぐになるほどそれは強敵が多い海外の市場環境で生き残るために必要なことだと理解した。変えることそのものは当たり前で、その変えていくスピードが実はもっと重要であることも学んだ。彼らにとってそれは生き残りのための進化の過程で生まれてきた至極当たり前の変化だったのだ。

それだけでイノベティブな技術者には決して成れないが、標準化と伝承を愚直に続けて守っていくことと、至極当たり前のように環境の変化に対応して考え方を変えていくことも技術者には非常に重要なことであると強く感じている。「守っていくものと変えていくもの」を一人ひとりがしっかりとその重みを感じながら、皆で考えて実行していくことがとても大事であると思う。

これからコマツの研究開発の真の Global 化が進んでいく。その過程でその進化が少しでも早く進むようにできる限りの貢献をしていきたいと思う次第である。